
生きてきた貴女と

みほママ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

生きてきた貴女と

【Nコード】

N0240B

【作者名】

みほママ

【あらすじ】

世の中は生きにくい。そして逝きにくい。すごく、すごく。ただ生きるだけが必要なのかな？

（前書き）

苦しすぎる病気。鬱病。自分しか分からない。自分でも分からない。
そんな苦しみでただ、今を生きてる。

いつから笑えなくなっただ？いつから死にたいと思うようになってた？
大切な子供までも一緒に…

本当に自分がこの世から消えて失くなりそうだった。

苦しくもなく

体がふわふわして、誰かが泣きながら自分に何か話し掛けてる…

目を覚ましたら病院で点滴に繋がれていた。

血がついたＴシャツ

針を抜こうとしたら誰かに止められた。

お母さんの手だった。

家族みんながいた。誰かに手も握られ、涙・鼻水・よだれ…全部出てとまらなかった。

『…どこどこ？…生きてるの？…まなかは？』

ペンライトで瞳孔を見られ…

（もうすぐ死ぬの？）
と思った。

前日には

わざと睡眠薬を飲み、車に子供を乗せ、峠のほづに走って行き事故
った記憶はあった。
それから自分は…。

記憶がない

そして今日の朝??

大量の精神安定剤と睡眠薬を飲みほして、左腕を切った…と。

どうして生きてるの？

どうして助かったの？

誰が助けたの？

朦朧^{もろろ}とする自分がいて

今何を話しているのか

ちゃんと話せているのか分からない

そしてまた眠り

精神科閉鎖病棟へ入院。

『ちゃんと仕事しなよ』

『笑顔で』

分かってる。

それが仕事だから…

でもね、もう疲れすぎて、つくり笑いしか出来なくなってたよ。

元気な時は確かにあった、まわりから見れば。

本当はすぐいろんな事考えてて話をするにも話題が出てこな
くて…そこでまた一人で焦って相手の顔色うかがって…

人の無表情ってドキツとする。
どうしようもない
辛いだけなんだよ。

でも相手が笑っていてくれればそれがチカラになる

なんで生きなきゃいけない？

子供がいるから？

親が悲しむから？

まわりからの目？

そう考えれば逝きたくはない
でも生きたくもない

世渡り上手っているよね。見てると腹立つ

『強くなれ！！』

もっと強くなれって？

いつも隠れて声こらして泣いて、鬱病になって、リスカして、現実
逃避して

それでもまだいろんな事にたえて生きようとしてきたのに。。

頑張りすぎて心が死んでる

自分を切ったらダメ？

そんなに悪い？

左腕は心の傷を表してるよ

心が泣いてる時は、左腕も血流して泣いてる。

傷跡決して深くはないから、薄くなったと思ったらいつの間にかまた前より増えて…

でも辛かったら逃げなきゃいけない。

自分でおさえなきゃいけない。

逃げないと苦しくて苦しくて

部屋に剃刀がなくなっていれば、気違いのようになってベットの
下・脇・棚の上など夢中で探す。

…自分でも怖いくらい…

そして、切れてやっと安心するの。

薬に頼って何もかも忘れて助けられるの

悩みなんて他人に言っても尽きないし、解ってもらおうたって無理。

話すだけで楽になれるなんて嘘。

何か話した後の、その人の困った顔が見たくない

嫌がられるのが怖い

でも、相談できないのは辛い。解ってもらえないのはもっと辛い。

今も入院中

何も考えてないのに涙がでてくる。

食欲がない。

睡眠薬を飲んでも夜中2時か3時には目が覚める。 とにかくダ
ルイ

歩くだけで疲れる。

出来れば一人になりたい 雑音だけでイライラ

集中力がない。

考えがまとまらない。

何に対しても不安。

気分が落ちる…

などなど症状は言い切れなくて、自分ではコントロールできない感情で自分が自分ではないような気がする

精神的な面だけでなく、身体面でも症状は出る。

どうか頑張つてこれからも生きるから、リスカは『やめる』と、とめないで欲しい。

生きるためにするものだから。

人に言えなくて辛いからするものだから。

それをとめたら『今度こそ死ね』と言われてるようなものだよ。

精神の病、他人には見えないから、実際にならないと解ってもらえない。

こんな気持ちは誰にも直接は言えないから此処で解つて欲しい。

傷付けることを許してもらえなければ、必ずまた死のうとすると思う。

発散する場がないんだから。自分が生きようとするチカラでもあるからー

気づいてほしい

伝えたいのに伝えられないから

耳はふさがった状態で聞こえにくく、『すべての雑音消してほしい』看護婦さんに言ったら、『自分で克服しなさい』だって。

そりゃそうだよね…

人と話したり、ずっと考えたりすると気持ち悪くなってきた、手足が震えてくる
人がこわい
自分のこともこわい

友達が『頼ってくれるのがうれしい』って言うてくれた時、どんなに安心したか：
言葉にできない
ありがとう
まだうちの約束残ってたね。

今生きてるなら、こうして助かったなら
若いうちに辛い事も悲しい事も経験したほうがいいんだと前向きに考えるようにした。

辛い経験は人を輝かせる。

《男なんて性欲の固まり
女なんて利用されて終わり。もう誰も信じない。だから
もう裏切られる事 もない。
また傷つくって分かる》

なんて考えた。

でも違ったよ。

信じれる人はちゃんとした
距離も遠くて会えないけど待っててくれた。
この人も自分と同じ。

いつもバカだけど、いつも笑ってた。
似たような過去を持ち、それでも生きてる。

今までたくさんの男にも裏切られてきたけど、あなたには出逢って
よかった。

「さよなら」

も言わずに消えようとした女だけど、

鬱病で難しい女だけど、こんなでよければこれからはまなかと合わ
せて二人のお母さんになってあげる。たいした事はできないけど…

会えないけど、寂しい想いはもうさせないよ。

会えないけど、あなたのバカさと元気で頑張っていけそうです。

神様いるなら大切なひとをもう奪わないでください。

一日でも早くあなたに会いたい。

まなかが生まれて来た事が悪かったんぢやないんだよ。

あの時怖かったね。びっくりしたね

ママがまなかを守れなくて弱い人だったんだよ。

もっと強くならなきゃね

今度こそ絶対幸せにしてあげる

もしこれを読んで、同情ならばすぐ離れてください。もう嫌でしょ。

疲れるでしょ。

あなた達もおかしくなってしまう。

あなた達までも壊してしまう。

同情なんていない。

愛が欲しかっただけ。

今から飛び出して逝こうか

あの綺麗な空のもとへ

疲れたら星になればいい。。。

（後書き）

本当は自分の感情を失ったただの人間。精神病の人が自殺するのではないと思う。世間の人が無関心で、冷たい心で、自殺に追い込んでる…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0240b/>

生きてきた貴女と

2010年10月19日11時41分発行